

# AEDの使用方法・心肺蘇生法

## ①反応の確認

声をかけ反応をみる

- 「反応がない」
- 「うめき声」
- 「名前・年齢が言えない」
- 基本は平常時との違いに気づくこと!



## ②呼吸の確認

胸や腹部の動きを確認

- 呼吸がなければ胸骨圧迫
- 目で胸や腹部が動くかを見る。

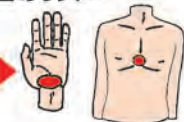


## ③胸骨圧迫 (心臓マッサージ)

胸の真ん中を押す(30回)

1分間に100~120回のリズム

手掌基部で  
圧迫部位を押す



## ④人工呼吸

(人工呼吸をすることが困難な場合は省略してもかまいません。)

鼻をつまんで、口にかかるく息を

1回1秒かけて2回  
吹き込みます。

- ※人工呼吸は、たくさん吹き込む必要はありません。
- ※直接口に触れないための感染防護具がある場合は使用しましょう。



①

②

③

AEDはこのよう  
な人に使用しまし  
ょう  
**! 反応が無い**  
**! 呼吸が無い**

AEDの電源を入れる  
フタを開けると  
自動的に電源が入  
る機種もあります。  
(メッセージが流れ  
実施すべきことを  
指示してくれます)



電極/パッドを直接胸部に  
貼り付ける  
汗・水などで濡れ  
ている場合は、パ  
ッドを貼る部分を  
拭いてください。



④

⑤

AEDが自動的に心電図を  
解析  
AEDが自動的に  
患者の心電図を  
解析します。  
解析中患者に触れない



ショックの必要あり

ショックの必要なし

誰も触れていないことを確認  
ショックボタンを押す  
ショックボタンを押した後、  
メッセージに従いすぐに  
心肺蘇生法をスタート  
します。



胸骨圧迫を行い心肺蘇生をスタートします

(以後、2分ごとにAEDは自動的に心電図を解析しますのでメッセージに従ってください。)

## 出血 (止血法)

①傷口を圧迫する(圧迫止血)

出血している部分にガーゼやタオルを当て、その上から手のひらで圧迫する。また、感染を防ぐため、できる限り、ビニール袋を使用するのが望ましい。



②傷口を心臓より高くする

## 骨折 (固定法)

①動かないようにして、傷や出血の手当てをする

②患部を固定する

副木を当て、骨折した部分の上と下の関節を固定して、骨折したところが動かないようにする。手近で代用できるものを使う。



③安静にして、早めに医療機関へ

## 応急手当講習会

グループや団体を対象に、心肺蘇生法、AEDの使用法等の講習会を行っています。

講習は無料です。詳しくは消防本部警防課にお問い合わせ下さい。

消防本部 警防課  
(0993-72-0049)